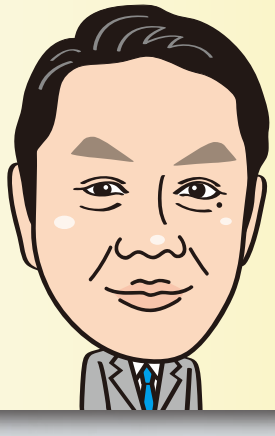


人と地域の絆を大切にしたい。

長野県議会議員

小池ひさなが

VOL.11 県議会だより

平成２８年１月４日発行
【発行者】新ながの・公明
茅野市・富士見町・原村支部
支部長：小池久長

【年頭所感】地方創生―「地域の生き方」問われる時代。

新たな年を迎え、本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略（案）」が発表され、本県でも「地方創生」施策の基本方針とともに「信州創生」への取り組みが着々と進みつつあります。深刻化する人口減少に歯止めをかけ、地域社会をどう維持・活性化するか。万全のスタートが切れるかどうかは、これからが正念場です。

地域の持つ強みがいかんなく発揮されるよう、各市町村の総合戦略と有機的に連携した共鳴関係をどう築いていくのか。県の姿勢が試される一方、「移住希望先ランキング」トップに輝く信州のポテンシャルを最大化していくために何より大切なのは、「自分たちの地域にどんな未来を描くか？」という問いに県民一人ひとりが真剣に向き合うこと。これこそが「信州版・地方創生」の成否を握る最大のカギとなるのです。あなたが思い描く「地域の未来」はどんな姿ですか。どうか引き続き、小池ひさながに地域への思いをお聞かせください。

【県民文化健康福祉委員会】県看護大で学生の皆さんとの意見交換を実施

長野県看護大学にて、学生の皆さんと意見交換をさせていただきました。

高齢化の加速度的な進行とともに、介護分野においても看護のプレゼンスがさらに重きを増していくことが予想される中、優秀な看護人材の育成のみならず、その後の地域への定着を考える上でも、大変多くの示唆をいただく機会となりました。

～地方創生　魅力ある高等教育　消防団入団促進～

一般質問

平成２７年１２月定例会

問：ひとり親家庭の移住促進施策の狙いは何か。

答（県民文化部長）：生産年齢世代と子ども世代の人口増加で、学校の児童や地域の担い手の確保といった地域の活性化が期待できる。自然環境が豊かで地域のつながりが比較的強く、生活コストも相対的に安いといった強みを持つ長野県には、優位性があると考えている。国にも働きかけを行いながら、子育てや就業、子ども支援等の充実を図りたい。

問：大学進学の８割以上が県外。学費や仕送り等で年７００億円が流出している。県内大学の発展に支援の強化を。

答（阿部知事）：各大学の魅力をさらに向上、発展させていく支援が必要。諏訪東京理科大の公立法人化協議にも県として積極的に参加し、支援内容の検討を進める。これまでなかった学部や学科、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の設置を支援し、県内大学の収容力と私立大の定員充足率を上げていきたい。

問：大学生や女性の消防団入団促進に向けた取り組みを。

答（危機管理部長）：就職支援の一環として消防団活動を行った学生を認証する制度は、大学が所在あるいは隣接する市町村を中心に導入を呼びかけ、企業採用で配慮されるよう経済団体に要請して実効性を高めたい。女性団員についても意見発表会などによる士気高揚や、広域での交流活性化を支援してきた。今後も県消防協会と連携して、活動しやすい環境づくりに取り組む。

皆さんからの いいね！ お待ちしています。

紙上 de 活動報告

雹の農作物被害を調査。安心して農業を続けられる態勢づくりに、これからも全力で取り組みます。

「オリックス八ヶ岳農園」が竣工。アグリビジネスが本格化します。地域雇用に期待。

企画振興部の課長さんたちと県の課題について意見交換。膝を突きあわせての議論も大切です。

茅野市長をはじめ関係団体の方々とともにビーナスラインの補修、湯川バイパス早期完成を要望。

新ながの・公明 会派活動報告

政調会長として、新年度予算へ向けた会派要望のとりまとめに携り、阿部知事へ提出しました。

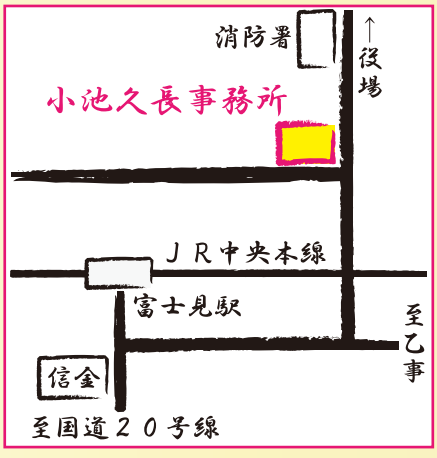
多様な地域資源を有する長野県のポテンシャルを存分に引き出し、すべての人に居場所のある活力と希望あふれる信州創生をめざして、引き続き提言を行ってまいります。

新春県政報告会のご案内

※どなたでもご参加いただけます。
事務所までご連絡ください。

【富士見・原地区 報告会】
1月30日（土）18:30～
於JA会館ふじみ／会費3,000円

【茅野地区 報告会】
2月開催予定。 詳細は決まり次第、改めてお知らせ致します。



長野県議会議員 小池久長事務所
新ながの・公明 茅野市・富士見町・原村支部

〒399-0214
長野県諏訪郡富士見町落合 9984-1062 A201
【TEL】0266-61-0501
【FAX】0266-61-0502
【E-Mail】hisanaga@koikehisanaga.com

小池久長　検索